

進路ニュース 第6号

東京都立広尾高等学校 進路指導部

令和2年 5月 13日 発行



進路のてびきが出来ました！

「進路のてびき」が完成し、学校に届きました。今年は緑色の表紙です。毎年、本校では1年生から3年生全員に、この「進路のてびき」を配布しています。

ところで、2、3年生の皆さんには昨年度も「てびき」が配布されていますが、去年の表紙の色は何色ですか。覚えていないな…という人、もうすでにライバルとの差がついてしまっています。

進路ニュース第3号では、インターネットや学校案内のパンフレット等での積極的な情報収集について、話題に取り上げました。

しかし、基礎知識がなければそれらの情報を正しく活用することは出来ません。

「進路のてびき」=進路の入門書だと考え、読んでみてわからないことがあれば、担任の先生や進路指導部の先生に質問をしたり、インターネットなどを使って調べてみてください。

本日は進路行事の予定でしたが…

本日の午後は1、2年生を対象に卒業生講話、3年生へは進路フェアを実施予定でした。本来であれば卒業生の生の声をたくさん聞いてもらうはずでしたが…

そこで、今回も「進路のてびき」にある「卒業生による合格体験記」から、紙面の都合上1名のメッセージを一部省略して紹介します。てびきには多数の体験記を掲載しています。講話の代わりにぜひ読んでみてください。

◎宮城大学 食産業学群 公募推薦

私は1年生の秋ぐらいに志望校を決めました。その時期に決めたからといっても受験勉強を始めたのは部活を引退してからの6月中旬です。公募入試があることは知っていましたが、面接に自信がなかったので一般入試に絞って考えていました。それでも1年生から定期考査はしっかり勉強して、評定を大事にしました。のちに公募を急遽受けると決めた高3の夏休みに、出願条件の評定平均4.0以上を超えていたことは、ずっと手を抜かなかったおかげだと思います。

ここからは私が受験勉強で1番大変だったことを伝えます。それは、公立公募と公立一般と私立一般の3つの勉強のバランスの取り方です。公立はセンター試験の比率が大きく、また公募といってもセンター試験の基準点があり、それを超えなければなりません。第一志望に受かる為にセンター試験の対策を1番に勉強しました。(中略)最初から甘く見ていた国公立受験は本当にきつくて、精神的にも体力的にも限界を感じたり、点数が上がらなくて毎日が不安で勉強したくなくなるなんてたくさんありました。それでもやっぱり第一志望に行きたくて、こんなことを考えている1分1秒でも周りのライバルは着々と勉強しているんだと考えて、私は頑張りました。また、1番の支えは友達でした。どんなに辛くても一緒に共有して笑えたり、一緒に号泣したりすることは、一瞬でも受験のことを忘れることができる魔法です。体育の授業やたまの息抜きも、うまく使う人が成功すると思います。

最後に、これだけ書いてきましたが結局は自分がやるかやらないかです。塾に通っていてもやらなければ落ちますし、塾に通ってなくてもやれば合格します。人生で一回くらい本気で勉強してみてください。先生に「また君か」と思われるくらい質問し続けてください。乗り越えたら自信がつきますし、人としても成長します。応援しています。

今後も、様々な情報を発信していく予定です。Classi および学校 HP を常に確認してください！

